



私のいちおし本 「小田くんは南部せんべい店」

高森 美由紀 著／徳間書店



選者：文化センター 多田 愛美

主人公・弘毅の家は、南部せんべいを作っているお店です。南部せんべいは、小麦粉と塩と重曹で作られる岩手県の銘菓ですが、弘毅のお店がある、青森県三津町でも親しまれています。お店で作られる南部せんべいは、弘毅の祖父の手で、焼き窯で焼き上げられ、【小田せんべい店】の商品として、お店やスーパーで売られます。

始めは、自分のお店が古く、同級生に見られるのも恥ずかしく嫌がっていた弘毅ですが、せんべい作りを手伝っていくうちに、その面白さを知り、伝統の重さを感じて、気持ちが徐々に変化していきます。南部せんべいを通して、家族のあたたかさや、友情の素晴らしさを教えてくれる物語です。ぜひ読んでみてください。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

多類婚姻譚

凧良 ゆう 著

一緒に生きる。わかりあえないあなたと。一番近くにいる他人-こいびと-。どうして結婚はこんなに難しくなったのだろうか。『流浪の月』『汝、星のごとく』で二度の本屋大賞受賞した著者が描く、今そこにある愛のかたち。セクシュアリティ/ジェンダー、金銭感覚、世代間格差、成育環境…あらゆる価値観の対立の中で現代を生きるわたしたちの祈り叫び。



【文化センター図書室】

【一般】

明治のナイチンゲール大関和物語

田中 ひかる 著

看護婦が「賤業」とされた明治時代、女性の経済的自立を目指し、職業看護婦の道を切り拓いた女性たちがいた。この賤業に就き、生涯をかけて看護婦の技能の向上と制度化に努めた大関和と、彼女を支え続けた鈴木雅の物語



【児童】

よーい ドテッ!

大塚 健太 作／西村 敏雄 絵

ポケまくり!動物たちのズッコケかけっこ。ウサギとカメがかけっこを始めました。ゴリラの合図スタートです。「いちについて、よーい…どんぐり!」。ゴリラがふざけるたびに、ウサギとカメはドテッとズッコケて、なかなか走り出せません。ポケまくるゴリラに、読み聞かせ大ウケすることまちがいなし!



【児童】

ゴリラのはなくそ

たなかなおと文／ほりかわりまこ 絵

これから何を聞かれても「ゴリラのはなくそ」って言うんだよ。朝ごはん何食べた?きみの顔にくっついてるのは?世界でいちばん大事なものは?勝つのはきみか、それともゴリラか。ゆかいな参加型絵本。



その他の新刊

【一般】#台所のあるところ

原田 ひ香 著

【児童】やさいぐぐぐん

金内 織恵 作

その他の新刊

【一般】みんなの短歌

テレビ「夫が寝たあとに」著／俵 万智 著

金波銀波

澤田 瞳子 著

【児童】たんたんたなばた

西村 敏雄 さく

僕が使ったペットボトルはどこへ行く?

木口 達也 著

～「いきいき・のびのび・おはなし会」のお知らせ～

日時：8月5日(水) 10:00 から (1時間程度)

場所：銀河アリーナ 2階小ホール

子どもから、ご年配の方まで参加は自由です。除籍雑誌などの無料配布もあります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。